

運営推進会議記録

開催日時	平成29年9月26日（火曜日） 18時30分 ～ 19時30分	場 所	株式会社グッドライフケア 大阪 北支店会議室
参加者	福効医院院長、きむ医療連携クリニック医師、看護師、北区地域包括支援センター介護支援専門員、北区大淀地域包括支援センター社会福祉士、北区オレンジチーム、なないろ訪問看護ステーション看護師 アワーズ訪問看護ステーション看護師 法円坂訪問看護ステーション 理学療法士、グッドライフケア24大阪 オペレーター、訪問介護員、グッドライフケア居宅介護支援センター大阪北 介護支援専門員 2名、グッドライフケア大阪西 管理者、グッドライフケア訪問看護ステーション大阪看護師、計18名		
	○利用者推移などの数値的データの紹介 北区の特徴 ○社会的課題と現在の定期巡回での取り組み ○事例紹介		
	活動内容等の評価 ・利用者推移などの数値的データの紹介にて他区と比べて北区の状況を紹介する事が出来た。 ・社会的課題→介護サービスの過剰提供と自立支援へ向けた取り組みについて提案し、定期巡回随時対応型訪問介護看護を用いて可能な事があるのではないかと問題定期を行えた。 ・事例を通して実際の依頼内容などを共有する事が出来た。		
	要望・助言内容 ・定期巡回随時対応型訪問介護看護の必要性について →他のサービスで充足していると感じておられるか？ 塩見 友明：サービスの切り替えは可能なのか？→可能です。実際に何回行ってきているのかなどのデータを知りたい。 →どのような利用者像を想定しサービスを期待されるか？ 長谷川 寧子：そもそもどのような利用者に向くかわからない。→ 宮崎 義朗：特色は何か？他の事業所と比べてどこに力を入れているのかなどグッドライフケアの特色を通じて伝えてくれれば分かりやすいと思う。 採算も含めて在宅で行うという事は工夫が必要であるし、その辺りも知りたい。 →他職種の連携をより進め、目標志向型の関わりや自立支援に向けたサービスになり得ると感じているか？ 福井 晃一：リハビリスタッフも含めてどのように関わるかという事に具体性を持って行けばいいのではないか。 ・生活援助でのサービス介入が全国的に課題になっている事に対して、実際の現場での感覚としてはどのように感じ、考えておられるか？ 李 一鳳：実際に生活支援でのサービス介入が多くなっているという指摘については大阪の具体的データを知りたい。 この指摘は介護付きの施設であって、在宅とは関係ないのでは？ 介護度が高くなると独居などはどうしても生活支援を使わざるおえない部分があるのではないか？		
事業所名	グッドライフケア24大阪	記録作成者	平成29年9月26日 田邊 聡史

※ 原則として会議開催後2ヶ月以内にこの記録を作成・公表すること